

上川町ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で地球温暖化が原因と考えられる記録的な高温や大雨、大規模な干ばつ等の異常気象が増加しており、国内においても、猛威を振るう大型台風や局地的な集中豪雨などによる甚大な被害が発生するなど、気候変動による影響は私たちの身近な生活にまで及んできています。

気候変動の抑制に向け、2015年12月に合意されたパリ協定では、「平均気温上昇を産業革命以前に比べて2°C未満とし、1.5°Cに抑える努力をする」との目標が国際的に広く共有されたとともに、2018年に公表されたIPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書においては、この目標を達成するには「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

このような中、国においても「2050年までにカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、北海道においても、地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すこととされました。

こうした国内外の動向を踏まえ、上川町としても北海道や近隣自治体と連携・協力しながら、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの利活用、森林吸収源対策など、積極的に脱炭素化に取り組んでいく必要があります。

将来にわたり、上川町の美しく豊かな自然環境と良好な生活環境の保全を実現し、未来を託す世代に持続可能な地域を引き継いでいくため、町民や地域、事業者の皆さまと一体となって、2050年までに上川町の二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

令和4年7月1日

上川町長 佐藤 芳治